

認知症外来のご案内

認知症は病気ですが、早く発見すれば治るものがあります。



最近、人の名前が出てこない....

ちょっと前のことが思い出せない....

このようなことを経験したことはありませんか？

もの忘れは歳を取ることによる変化であることが大部分ですが、中にアルツハイマー型認知症や脳血管性認知症、手術で治る可能性のある脳腫瘍や正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫などが原因のこともあります。また、高血圧症や糖尿病の方は認知症を発症するリスクが高いといわれています。

当院では、詳細な問診の後、心理検査や画像診断(MRI)検査を行います。その上で、もの忘れが年齢によるものなのか、それとも認知症が疑われるのかを総合的に判断します。

外来診察日 …… 毎週水曜日

午後 12:30 ~ 14:00 (予約制)

事前にアンケート用紙を郵送しますので、必要事項を記入して診察当日にご持参下さい。当日は、問診にて日頃の生活状況をお聞きします。診察では、ご家族のお話も大切なので、診察をお受けになるご本人と、日頃良く関わっておられるご家族(なるべく同居されている方)と、できるだけ一緒にご来院下さい。

担当医 …… 半田 裕二 (副院長)

日本脳神経外科専門医 日本脊髄外科認定医

ご予約・問い合わせ先



独立行政法人 国立病院機構 福井病院
地域医療連携室

〒914-0195 福井県敦賀市桜ヶ丘町33番1号

TEL: 0770-25-1600 (代)

FAX: 0770-25-0354

ホームページ: <http://www.hosp.go.jp/~fukui/>
地域がん診療連携拠点病院

認知症外来検査項目

心理検査

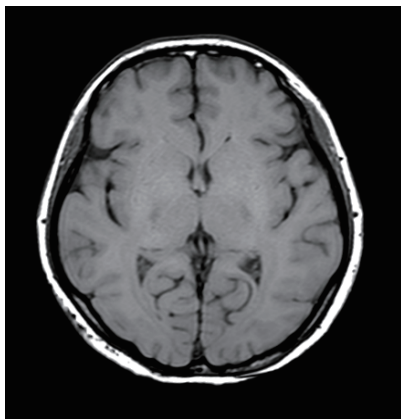
MMSE (Mini-mental state examination : 認知機能検査)

認知機能を簡便に測定できる検査で、記憶力、時間や場所に対する見当識(正しく認識する機能)、計算力、失語・失行失認の有無などを簡単に評価して、痴呆の程度を早期に診断するものです。

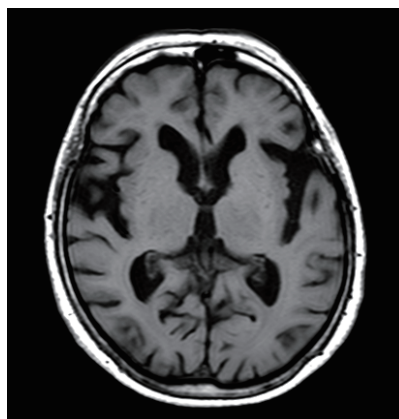
MRI (磁気共鳴断層撮影)

MRIでは、頭の中の病気のチェックや脳の萎縮の有無、程度、場所等を調べます。当院ではVSRADというソフトを用いて、頭部MRI検査により撮影された画像を用いて、海馬、海馬傍回などの萎縮度合いを健常者の画像と比較することにより、これまで難しかった早期の認知症診断を行なっております。

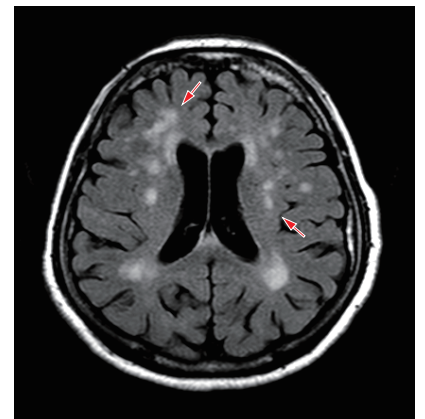
MRI



正常

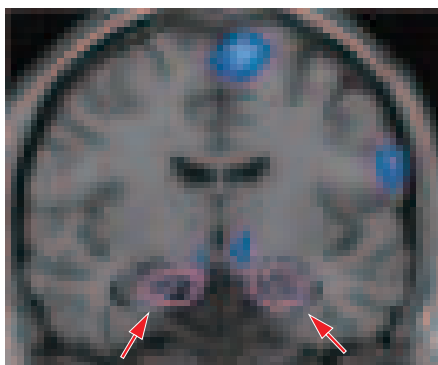


萎縮

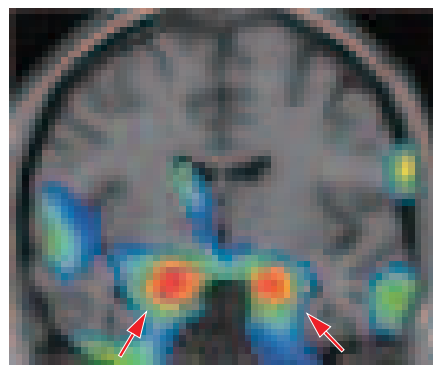


梗塞

VSRAD



萎縮の少ない海馬傍回



萎縮の強い海馬傍回